

Dance!

Dance!

「言葉の最も完全な意味において舞踊は遊びそのものであり、およそこの世に存在する最も純粋、完璧な遊びの形式を形づくっている」。

大教スポーツ



かつて遊戯論の名著『ホモ・ルーデンス』でホイジンガがこう言ったように、ダンスは文化の最も深いところで人間の動きを形づくってきた。今回の大教スポーツでは体育会所属部活動のなかでもダンス部そしてL.S.B.にお話しを伺い、いわば「舞うことの魅力」に迫ることとした。



11月の神霜祭においてパフォーマンスを披露

「モダンダンス」というダンスをご存じだろうか。モダンダンスとは20世紀の初頭に生まれた「新しい舞踊」のことである。特に西洋の古代以降に続いた伝統的なバレエの様式に対し、踊り手の自由で個性的な舞台表現を求めて生まれた「新しい」舞踊表現の流れを指すものでもある。

大阪教育大学のモダンダンス部は4年生5人、2年生2人、1年生4人の計11人が所属している。活動は月曜日、木曜日、そして日曜日に体育館1階のダンスルームで行われている。そしてモダンダンス部にとってもこの引き続くコロナ禍の中で、一体どのように活動を行っているのか、また部員たちの考える「モダンダンス」の魅力とは何か。モダンダンス部で代表を務める川上さくらさん(教育協働学科スポーツ科学専攻2年生)にお話を伺った。

「コロナ禍で活動に多くの制約がある中、活動における工夫を教えてください。」

「部員数が少なく、現在はい人しかいないので、まず互いの距離を空けて練習するようにしています。練習空間の面では今のところ問題ないのですが、部員みんな一緒にご飯を食べると、また部員が集まって出かけるという状況は、モダンダンスの魅力と考えると、交流が昨年度から一度もできていません。このコロナ禍においては、先輩から後輩へのコミュニケーションをいっしょに大切にできるようにしています。そして感染症対策の取り組みとしては、部員がダンスルームに入る時に体温を記録すること、また窓を開けて扇風機をつけたりすることなど常に工夫して活動できるようにしています。」



美しい踊りを披露した五月祭にて

「モダンダンスは他の種目のように決まった形がなく、思っていることや表現したいことを自分自身で創り、それを踊りとして形にできるのが魅力だと考えています。また大阪教育大学モダンダンス部の魅力としては、事務運営の部分も含めて部員で行うこともあって、全てが学生主体の活動であること、他大学と比べて部員数が少ない分、仲良く練習できることかなと思っています。」

「新入生・在校生に向けて一言お願いします。」

「新入生のみならず、ご入学おめでとうございます。モダンダンス部は部員を募集しています。初心者として始めた先輩部員もたくさんいらっしゃいますので、私たちが一緒に踊ってくれたらとてもうれしいなと思っています。」

「人数でも一致団結して奮闘し、五月祭や神霜祭でもステージの上で輝く大教モダンダンス部の活躍に期待したい。」

大教大の部活動のなかでもストリートダンスを中心に活動を続けるL.S.B.。その活発な活動の中心にあるものは何か。L.S.B.に所属して活動する森田花さん(教育協働学科グローバル専攻英語コミュニケーションコース2年生)にお話しを伺った。

「まずはL.S.B.の魅力をお話してください。」

「L.S.B.の魅力は、大教大で唯一のストリートダンスを専門とする部活動であること、そして先輩後輩の仲がとても良いことです。ストリートダンスのジャンル内で先輩後輩関係なく振りを作ったり、イベントがたくさんあったりするので先輩後輩の関係は最高にいいと思います！」

ストリートダンスはHIP HOPやLOCK IN、HOUSEといった多くのジャンルの総称です。各ジャンルの魅力的なポイントを一つの部活内で楽しめるのがL.S.B.の魅力です。また初心者でも楽しくダンスができるところが魅力です。部内には経験者と初心者の人数が半々くらいですがみんな楽しく踊ることが出来ます。経験者が初心者に教えたり、先輩が教えてくれたりするので上達も早いです。」

「ダンスをする上で部員の皆さんが最も大切にされていることは何ですか。」

「本番で全員が楽しかったと思えるように踊ることです。日々の練習から楽しく本番に向けて練習していますが、その本番が終わった時に『ああ終わったよかったかあ、ほんとに楽しかった』と舞台で思えるようにしたいと考えています。」

「本番で楽しく実力を出すためには緊張をほぐすことも大切ですが、緊張を解くためにどんなことをしていますか? また、普段の練習の中で楽しさを感じる瞬間はどんなときですか?」

「本番での緊張をほぐすために、開始前の声かけや円陣を組んだりしています。練習で楽しさを感じる時は振り付けが完成した時や、教えて貰ったことのできなかつたことができるようになったときです。」

「コロナ禍の状況下で工夫されたところはどんなところが教えてください。」

「コロナ禍で工夫していたことは、練習時に密にならないように間隔を空けて踊ったことです。また、ダンスルームを使用できない時はSNSを活用してオンラインで練習をしたりしていました。制限が緩和されたら挑戦したいことは今までよりもイベントを増やしていきたいです。昨年度は卒業公演もできなかったのですが、今年入学する新入生、並びに在校生に向けてメッセージをよろしくお願ひします。」



2022年の神霜祭での集合写真。部員は常に仲良く団結!

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

大教スポーツ

令和5年3月23日(木) 11号

発行 大阪教育大学体育会
編集長 林洋輔(保健体育部門講師)
編集員 井上隼社(小中国語コース3年生・準硬式野球部)/中辻広海(小中国語コース2年生・男子ラクロス部)/小柳湧大(中等社会コース4年生・合気道部)/北辰翔太(中等数学コース4年生・山岳部)/安井駿(教育心理コース3年生・男子ラクロス部)

2面	令和四年度 主な成績・活動一覧/体育会活動紹介
3面	学長杯団体賞/学長杯個人賞/令和四年度体育会学長杯 受賞者・団体一覧
4面	我が体育会(第11回)赤松喜久先生/吉田雅行先生/古和悟先生/編集後記

令和四年度 主な成績・活動一覽

※成績の①=1回生、②=2回生、③=3回生、④=4回生。

部活名	大会名	成績	部活名	大会名	成績																				
ラグビー部	a.関西大学ラグビーリーグ2022	a.Bリーグ3位	柔道部	e.全国国立大学柔道優勝大会	e.3位																				
男子サッカー部	c.関西学生サッカーリーグ2部	c.2部8位		f.全日本学生柔道体重別選手権大会	f.④山口雅矢-100キロ級出場 ③堀田孝起-100キロ級出場																				
女子サッカー部	a.関西学生女子サッカー春季リーグ b.関西学生女子サッカー秋季リーグ	a.2部6位 b.2部5位		g.いちご一会とちぎ国体	g.④山口雅矢-長崎代表ベスト16 ③堀田孝起-徳島代表ベスト16																				
アメリカンフットボール部	a.西日本学生大会 b.関西学生アメリカンフットボール秋季リーグ3部	a.3戦全勝 b.3部秋季リーグAブロック2位、全体4位→3部残留		j.大阪府下学生柔道体重別大会	j.①宮下真八-73キロ級1位 ②赤星菜々子-52キロ級3位																				
男子ハンドボール部	a.春季リーグ c.関西学生ハンドボール秋季リーグ	a.3部1位→2部昇格 c.2部7位	水上競技部	a.第10回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会 b.大阪府選手権水泳競技大会 c.第73回関西国公立大学選手権	a.④櫻根滉太郎-100m平泳ぎB決勝2位 b.④櫻根滉太郎-100m平泳ぎ決勝3位 c.男子総合1位 ③入江望来-200m自由形1位、400m自由形1位 ③悦過大知-200m自由形1位(大会新)、400m自由形1位(大会新) ④櫻根滉太郎-200m平泳ぎ1位、100m平泳ぎ1位 ①藤澤依里子-100m平泳ぎ1位 ・男子400mフリー-リレー1位、400mメドレー-リレー1位(大会新)、800mフリー-リレー1位 ・女子200mフリー-リレー1位																				
女子ハンドボール部	a.関西ハンドボールリーグ新人大会 b.関西ハンドボールリーグ秋季大会	a.2部2位 b.②上野彩香-関西ハンドボール秋季リーグ二部得点ランキング1位		d.第96回関西学生選手権水泳競技大会	d.男子1部→2部降格/女子2部残留 ③入江望来-400m自由形1位 ①藤澤依里子-100m平泳ぎ1位																				
硬式野球部	a.近畿学生野球連盟2022年度春季リーグ戦 b.近畿学生野球連盟秋季リーグ戦	a.3部3位 b.3部3位		e.第69回全国国公立大学水泳選手権	e.男子総合3位シード獲得 ・男子400mメドレー-リレー3位、800mフリー-リレー3位 ③悦過大知-200m自由形3位																				
準硬式野球部	a.令和四年度阪神六大学春季リーグ戦 b.令和四年度阪神六大学秋季リーグ戦	a.リーグ戦2位 b.リーグ戦3位	硬式庭球部	a.2022年度 関西学生春季テニストーナメント b.2022年度 関西学生テニス選手権大会 c.2022年度全日本学生テニス選手権大会 d.2022年度関西学生 チャレンジテニストーナメント e.2022年度関西大学対抗テニスリーグ	a.④清水柚華-ベスト16/④西田賀杏央-ベスト64 ②兼田若奈-ベスト64 ④清水柚華、④西田賀杏央ペア-ベスト4 ②兼田若奈、②坪井颯来ペア-ベスト32 b.④清水柚華-ベスト16/④坂江美空-ベスト64 ④西田賀杏央-ベスト64/②兼田若奈-ベスト64 ④清水柚華、④西田賀杏央ペア-ベスト4 c.④清水柚華、④西田賀杏央ペア-ベスト64 d.④坂江美空-ベスト4/②今井雪乃-ベスト8 ②坪井颯来-ベスト32 ④坂江美空、②今井雪乃ペア-1位 e.男子2部5位/女子1部3位																				
陸上競技部	a.第2回全国招待大学対抗男女混合駅伝 b.第70回 大阪学生陸上競技対抗選手権大会 c.第99回 関西学生陸上競技対抗選手権大会 d.第106回日本陸上競技選手権大会 e.第38回U20日本陸上競技選手権大会 f.秩父宮賜杯 第75回西日本学生陸上競技選手権大会 g.2022関西学生新人陸上競技選手権大会 兼2022ディムライトリレー h.天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対抗選手権大会 i.2022関西学生陸上競技種目別選手権大会 兼第44回関西学生混成選手権大会	a.19位 b.④木村竜晟-400mハードル2位 ④松元菜笑-800m1位 ④玉井奈那-100mハードル1位 ③吉田果恋-3000m障害2位 ④辻井美緒-女子400mハードル1位 ②原佳奈穂-400mハードル2位 ・女子4×100mリレー3位 ①山岸朱里-女子棒高跳1位 ②島田拓実-男子走高跳2位 c.④玉井奈那-女子100mハードル1位 ④辻井美緒-女子400mハードル3位 ・女子4×400mリレー3位 d.④辻井美緒-女子400mハードル7位入賞 e.①世良柚実乃-女子三段跳び2位 f.④木村竜晟-男子400mハードル1位 ④辻井美緒-女子400mハードル1位 g.②朝田康聖-男子やり投げ2位 ①山岸朱里-女子棒高跳2位 h.④辻井美緒-女子400mハードル4位 i.③内藤源一郎-男400mハードル3位 ③田中陽介-男子十種競技1位 ①前原ゆい-女子100m1位 ④辻井美緒-女子400mハードル1位 女子4×400mリレー3位	男子バレーボール部	a.関西大学バレーボール連盟春季リーグ c.関西大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦	a.2部8位→3部降格 c.3部2位 2部昇格入れ替え戦出場→敗北 3部残留	女子バレーボール部	a.2022年度関西学生バレーボール連盟 女子4部春季リーグ b.第60回全国教育学芸大学バレーボール大会 c.2022年度関西学生バレーボール連盟 女子3部秋季リーグ	a.4部1位→3部昇格 b.Aチーム1位 c.3部3位、現在3部 ③下川真由-女子3部ブロック賞	女子バレーボール部	a.関西女子学生バレーボールリーグ戦	a.2部9位	女子バレーボール部	a.令和3年関西学生バドミントン新人戦大会 c.全国国立教育系大学バドミントン大会 d.関西学生バドミントン春季リーグ戦大会 j.関西学生バドミントン秋季リーグ戦 k.関西学生バドミントン新人戦大会 l.大阪学生バドミントン選手権大会団体の部	a.②稲葉敬大 男子シングルスBベスト8 c.男子2部→3部降格/女子3部残留 d.①五十嵐ゆい-女子シングルスB2位 j.男子3部下位3位/女子3部上位1位 k.①五十嵐ゆい、①福岡巳早希ペア -女子ダブルスB第3位 l.男子2部3位/女子1部3位	卓球部	b.関西学生卓球春季リーグ戦 c.全国教育(学芸)卓球選手権 e.関西学生卓球秋季リーグ戦	b.男子4部4位/女子3部B6位→4部降格 c.③根本公平-男子一般シングルの部3位 ②樽見快-男子現役シングルの部3位 ②福田智大-男子現役シングルの部3位 e.男子4部校B2位/女子4部校3位	体操競技部	a.第72回西日本学生体操選手権大会 体操競技の部	a.②住藤ひなた-西日本インカレ団体メンバー(12位)個人50位 ④辻日向子-西日本インカレ団体メンバー(12位)個人67位 ①則末拓也-西日本インカレ個人140位(優秀選手推薦)	柔道部	d.関西学生柔道体重別選手権大会	d.④山口雅矢-100キロ級2位 ③堀田孝起-100キロ級7位	男子バレーボール部、スキ一部、合気道部、モダンダンス部、L.S.B.、山岳部	特になし

復活の狼煙、上がる!スポーツ祭が3年ぶりに復活開催!!

冬の兆しも見え始めた11月1日、降雨で冷え込む気温とは裏腹に大阪教育大学の体育館メイアリーナは熱気に満ちていた。靴と床が擦れ合う心地よい音、響き渡る歓声、そして縦横無尽に飛び交うボールという弾丸。3年ぶりに対面開催となった「秋季スポーツ祭」当日の1日、大阪教育大学体育会主催のドッジボール大会が同大学体育館で開催された。参加チームは計4チーム。各チーム8名前後の参加者たちは、闘志を全身にみながら試合に臨んだ。試合開始前には参加者は、「普段から体育会のおかげで部の活動ができています。このドッジボール大会で結果を残し、体育会の活動に貢献したい。」と語った。

それぞれのチームが予想をはるかに上回る熱戦を繰り広げ、スムーズな運営にも助けられて大会は最終戦まで滞りなく進んだ。試合の熱気も冷めやらぬ中、大会運営の中心を担った大阪教育大学体育会会長の川村昂平さん(教育協働学科学理情報専攻自然科学コース3回生)にお話を伺った。



体育館にて熱戦が繰り広げられた

「今回のドッジボール大会を振り返って、いかがでしたか。」
「この3年、スポーツ祭(秋季スポーツ祭)を開催することができませんでした。今回の再開にあたり新たな競技種目を考え、ドッジボールを提案しました。結果は僕が思っていた以上に人が集まってくれ、また無事に終わることができて嬉しく思っています。僕も1試合だけ参加させてもらいましたが、競技レベルが高すぎて1試合でやめました(笑)。」
「3年ぶりのスポーツ祭でしたが、準備を進める中で何を意識していましたか。」
「新型コロナウイルスの感染対策が大きな課題でしたが、ある程度の人数でもできる競技種目の観点を念頭に置き、全員が楽しめるようなものを重視しました。ただバスケットボールやバレーボールでは熟練した人ばかりが目立ってしまうのではとも思いましたので、みんなが小学校の頃にも参加したであろうドッジボールを選びました。」
「アフターコロナに向けて、どのような体育会を目指しているか。」
「この数年はコロナ禍により体育会も思うように活動ができず、体育会に所属する各団体も対策に自粛と頑張ってくれています。感染防止対策を徹底しての大会参加が前提ですが、ルールを守りつつも楽しめることは全員で楽しめるような体育会を目指したいと思っています。」
「使用するボールを常に入れ替え、コロナ対策を徹底した参加者たちが笑顔で会場を後にした今回のドッジボール大会。アフターコロナに向けた「全員が楽しめる体育会」へ、大きな一歩が今確かに踏み出された。」

輝く殊勲! 令和四年度 学長杯受賞者ここに堂々決まる!!!



達成目標を掲げて、仲間たちと

学長杯 団体部 受賞 剣道部

令和4年度もコロナ禍のなか数々の業績を挙げた剣道部。活動の苦勞とアフターコロナに向け、剣道部を牽引してきた坂本匡生さん(教育協働学科スポーツ科学専攻4回生)にお話を伺った。

— 剣道部が学長杯を受賞して

「今まで努力してきたことが、このような形で目に見える結果となったことを、率直に嬉しく思っています。指導してくださった太田先生をはじめ、支えてくださったOB、OGの方々にも深く感謝しています。」

— コロナ期間中、どのような苦勞がありましたか。

「1つ上の代ではコロナ禍の影響が大きく、道場の消毒や男女別に稽古を行う体制を整えるなど、様々な措置を行いました。そのため男女各々がいかに稽古をしていくかを先生や部員と相談して考えていきました。制限が緩和され男女同

時に稽古ができるようになったときには、男女それぞれにお互いから得るものがあり部活動として高め合い、切磋琢磨しながら活動に取り組むことができました。士気も上がり、目標に向かって一層前向きに稽古をすることができたと思います。このことが、剣道部が良い成績を収めることのできた要因の一つなのではないかと思えます。」

— アフターコロナに向けて、今後剣道部などのようなことを期待しますか。

「今後、練習や練習試合がしやすくなると思います。また公式戦でも、これまでは部員全員で会場に入っていた応援ができないなどの状況でしたが、これから部員全員でできるような一層まとまり、目標に向かって頑張りたいです。部員達には全員で同じ志を持って稽古に臨み、目標を達成してほしいという思いでいっぱいだと思います。稽古だけでなく部内の仕事や大学生生活など、すべてに意識を高く持ちながら臨んでいくことを期待しています。」

試合での数々の業績の裏には稽古に対して、そして活動に関する運営業務に対して真摯に取り組む態度が印象的な剣道部。積極的・主体的に活動に取り組むと同時に歴史を重ねてさらに躍進を続ける大教剣道部から今後目が離せない。

清水柚華選手

西田賀杏央選手

— 受賞の感想をお聞かせください。

清水 「4年間頑張ってきたことで、このような賞を頂けることを嬉しく思います。」

西田 「テニスを頑張りながら楽しんで取り組んでいたため、受賞に驚いています。」

— コロナ禍でどのように競技を続けましたか。

清水 「就職する企業にテニス会があり、続けていけたらと思っています。」

西田 「地域のサークルや

辻井美緒選手

— 受賞した今のお気持ちを聞かせてください。

「4年間自分が一番頑張ってきたことなので、素晴らしい賞を頂けることになり嬉しく思っています。」

— コロナ期間中、どのように競技と向き合っていましたか。

「来阪にも制限があり、一人での練習を余儀なくされました。辛い時期ではありましたが、今できることを考え、自分を見つめ直すことで競技と向き合っていました。部の仲間と一緒に練習できたこともプラスになったと思います。」

— 今後、どのように競技と向き合っていきますか。

山口雅矢選手

— 今のお気持ちを聞かせてください。

「本学柔道部顧問の石川先生をはじめ様々な人たちに支えていただいた先で得た賞なので、大変嬉しく思います。」

— コロナ期間中、どのように競技と向き合っていましたか。

就職する企業のテニス部で楽しく続けていきたいです。」



左:清水柚華選手、右:西田賀杏央選手

「私は進学が決まっています、少なくともあと2年競技を続けます。次のシーズンでは仲間と切磋琢磨し、高め合いながら競技と向き合いたいと思います。」



辻井美緒選手

「自分の柔道を見つめ直しました。走り込みや、大学のトレーニングルームが使えなかったため個人でジムと契約して体作りに取り組みました。」

— 今後、どのように競技と向き合っていきますか。

「就職するので競技は」



山口雅矢選手

令和四年度体育会学長杯 受賞者・団体一覧

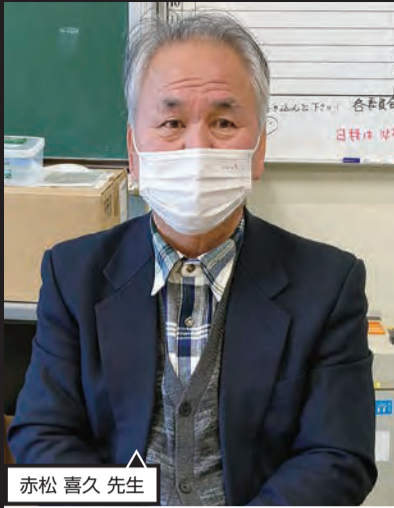
各賞の受賞団体及び個人について(学長杯個人賞以外は、令和4年度成績)

タイトル	受賞者・団体	主な受賞理由
学長杯(団体)	剣道部	令和4年度全日本女子学生剣道選手権大会個人ベスト32、関西学生剣道優勝大会ベスト8、西日本女子学生剣道大会ベスト8、また優秀選手賞受賞者を輩出。第72回大阪女子学生剣道選手権大会2位および3位。
学長杯個人賞	山口雅矢(柔道部) 4年	1年生時に大阪府下学生柔道体重別大会3位、令和3年度関西学生柔道体重別選手権大会ベスト16、令和4年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会出場。
	辻井美緒(陸上競技部) 4年	令和4年度第106回日本陸上競技選手権大会女子400mハードルで7位入賞。4年間を通じて陸上競技部の400mハードル主力として活躍。
	清水柚華・西田賀杏央ペア(硬式庭球部) 4年	4年間で全日本学生テニス選手権大会女子ダブルスに3度出場。令和4年度は主務(清水)、主将(西田)として1部リーグ3位の立役者となった。
殊勲賞	木村竜晟(陸上競技部) 4年	令和4年度第75回西日本学生陸上競技対校選手権大会男子400mハードル優勝。4年間を通じて陸上競技部の400mハードル主力として活躍。
	柔道部	少人数ながら3つの全国大会に出場者を輩出。関西学生柔道体重別選手権大会では各階級でベスト16を8人輩出。
敢闘賞	悦過大知(水上競技部) 3年	前年第68回全国国立大学選手権400m自由形5位から令和4年度第73回関西国立大学選手権男子200m、400m自由形で大会新記録を記録。
	女子ハンドボール部	前年部員3名から2部リーグ2位に転進。所属部員が関西ハンドボールリーグ秋季大会にて2部得点ランキング1位。
体育会会長杯	岡本彩花(剣道部) 4年	令和4年度関西学生剣道連盟及び全日本学生剣道連盟で女性初の幹事長兼学生代表理事として、関西大会及び全日本大会の試合運営を始めとした諸活動を行った。
体育会顧問奨励賞	体育会幹部	コロナ禍のため中止していたスポーツ祭をノウハウのない中、3年ぶりに復活開催した。
体育会特別賞	入江望来(水上競技部) 3年	第73回関西国立大学選手権女子200m、400m自由形1位。第96回関西学生選手権水泳競技大会400m女子自由形2部1位。
	世良柚実乃(陸上競技部) 1年	第38回U20日本陸上競技選手権大会にて女子三段跳び2位。

我がが体育会 第11回

「温故知新」をテーマに本学体育会とゆかりの深い先輩方にインタビューする本企画。第11回となる今回は、本学体育会を長年指導して来られた3人の先生方が教授職を満了されるにあたり、本学体育会を率いてきた思いと現役生への激励をいただきました！

教員養成課程保健体育部門 教授 赤松喜久先生



赤松 喜久 先生

大阪教育大学に着任された経緯

「当時の指導教員に『大阪教育大学に行くか』と聞かれたので行きますと答えた。今のように公募ではなく、連日タイミンが良かったため」とのこと。大学院時代の同級生は皆大学に勤めているとも語ってくださった。

陸上競技部を率いてきた苦労について

「大阪教育大学の卒業生ではないため、当時の陸上競技部にも雰囲気や伝統があり、そこに異なった価値観を持ち込むことについて非常に慎重に対応した」と振り返られた。

陸上競技部を率い

てきた喜びとは

「2部に甘んじていた陸上競技部が1部常連校になってくれたこと。学生から親しみと敬意をもって『卓刈り部長』と呼ばれるほど環境整備にも努められた赤松先生。競技に関わる技術的な指導はあまり行わなかったとのことだが、『大阪教育大学の学生は付きっきりで指導しなくても、本人の意思があれば結果が伴う』という思いを私は持っている」。

陸上競技部で思い出深い試合

「全日本インカレの4x400mリレーにおいて、国立大学で唯一決勝に残ったことがあった。近畿の各大学の方々が応援に来てくれたり、感動したという連絡を頂いたことが思い出に残っている。あの光景は今思い出しでも涙が出てくる。一生忘れられない」。

体育会の活動での思い出

「『大教S.C.』という地域

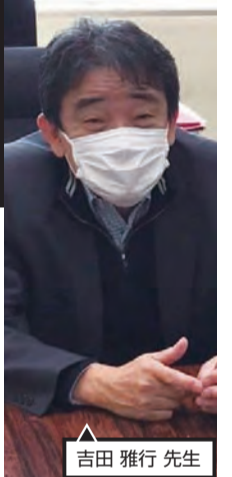
貢献活動の中で『子ども陸上教室』を開催している。コロナ禍で最近活動できていなかったが、陸上競技部の部員からの強い要請があり再開した。この活動について、

「部活動を通して行う活きた教育実習の機会だと思っている。そして、『現在、部活動を外部委託しようとする動きが出ている。大教S.Cは陸上競技だけの活動ではなく、こうした流れにも即応できると考えている。』大教S.Cは柏原市唯一の総合型地域スポーツクラブと銘打って設立されたものであり、今後にも期待大だ。

体育会学生へのアドバイスは

「大教ならではの特色ある活動を行ってほしい。体育会が発展すると、全日本インカレでの決勝進出のように広く応援される団体になる。競技を離れば対戦相手も仲間であり、それがスポーツの価値の一つ。そのような価値を大切にしてくれることを期待する。赤松先生はこう力強く締めくくってくださった。

教育協働学科スポーツ科学部門 教授 吉田雅行先生



吉田 雅行 先生

大阪教育大学に着任された経緯をお聞かせください

「学生時代から大学教員になることに憧れていました。知人から『大教大に履歴書を出してみたら』と助言を受けたことが始まりで、現在まで35年以上勤務しています」。

バレー部の顧問として苦労されたことをお聞かせください

「学生が興味を保ちつつ競技方向に向けて指導することに苦

勞しました。『上手くなりたい』という考えから入部する部員が多いので、期待に応えられるようにしてきました」。

ご指導における喜びをお聞かせください

「体育・スポーツ専攻の学生

以外の部員もいる中で、『丸と丸』と活動する様子が何よりの喜びであり非常に感動的でした。試合に勝つことも大事ですが、一生懸命に取り組んでいる姿へこそ、結果は人それぞれで色々な違いがありますが、そこで得られるものはかけがえのないものであり部活動・課外活動の魅力だと考えています」。

思い出深い試合についてお聞かせください

「学生による活動で最も頑張っていると感じたことは、日々の清掃活動です。学内のスポーツ活動施設は非常に綺麗であり、清潔に保つと学生の意識は強いと思います。施設を今も使い続けることができているということは、現役部員や先輩方が『自分たちの活動場所を大切にしよう』と

「長年様々な試合を見たため、特にこの試合といった断定はできません。試合を観戦する中で、感動したとやサポートが失敗したと後悔する場面もありましたが、そういった経験による長年顧問として活動に携わることができたと考えています」。

体育会の諸活動で思い出に残っていることはありますか

「学生による活動で最も頑張っていると感じたことは、日々の清掃活動です。学内のスポーツ活動施設は非常に綺麗であり、清潔に保つと学生の意識は強いと思います。施設を今も使い続けることができているということは、現役部員や先輩方が『自分たちの活動場所を大切にしよう』と

今後の体育会学生に向けたアドバイスをお願いします

「体育会活動の重要性を体育会に所属している全員が知っておいてください。皆さんが今行っている活動を継続することで、体育会関係者以外の方が施設を利用する際に『しっかり管理されている』と感じることが大切であり、その中心となるのが体育会であることをしっかり意識して頑張ってください」。

教員養成課程保健体育部門 教授 古和悟先生



古和 悟 先生

大阪教育大学に着任された経緯

「千葉県の教員採用試験を受けたが修士論文を書くことに夢中になっており、予備面接を受けることを忘れて採用に至らなかった。』と古和先生は笑顔で語ってくださった。そして、出身である筑波大学の指導教員から大阪教育大への就職を勧められた。大阪は古和先生の地元である島根県から見ては当時お住まいであった関東

体操部を率いてきた苦労

「今もそうだが部員数の減少が課題だ。また着任してから数

後に体操部内で重大な怪我人を出してしまいました。体操は予期せぬ大事故や怪我が付き物だが、真剣に競技に向き合う以上どうしても怪我が避けられないこともある。安全面の見極めがとても難しかった。』と怪我防止の難しさを語られた。

体操部を率いてきた喜び

「学生の成長や競技面での上達を間近で見られることが一番楽

体操部で思い出深い試合

「団体戦の2部ではあるが、全日本インカレで3位となり銅メダルをもらったこと。推薦入試で入ってきた部員に負けじと努力した一般入試組の部員がいた。また個人としても男子個人で全国優勝をした選手がいたね。』と喜びを語ってくださった。

体育会における活動の思い出

「いろいろお世話になってい

今後、体育会学生へのアドバイス

「いろいろお世話になっている先生方と共有すべき事項や申し送りの事項を確実に共有し、上手にコミュニケーションを取って同じことで注意を受けよう。うまく体育会を運営してほしい。と励ましをいただいた。

編集 後記

今号の大教スポーツの編集を担当しました。教員養成課程中国語コース3回生の井上隼杜です。今年度はスポーツ祭が3年ぶりに開催されるなど、コロナ禍からの復活に向けた歩みを著実に感じさせる中で紙面制作でした。また今回は紙面づくりに関して学長杯団体賞ならびに学長杯個人賞の受賞記事を第3面に折り込み、部活動紹介を第1面に掲載するなど実験的な試みにも挑戦しました。そして『我がが体育会』でご覧いただきますとおり、体育会の未来にとって貴重なお話が満載の紙面となっております。

末筆ながら体育会広報部員や様々に激励や指導を頂きました編集長の林先生をはじめ今号の編集、取材をご快諾いただいたすべての方々に心から感謝申し上げます。編集後記と致します。教員養成課程国語専攻 3回生 井上隼杜